

セカンドハーベスト・ジャパン / 活動の紹介

日本は先進国にも関わらず、OECD（経済開発協力機構）が2008年に公表した報告によると日本国内で15%（約2,000万人）の人たちが貧困線以下で生活しています。また、セカンドハーベスト・ジャパンは、フードセキュリティ*に欠けている人たちは日本に75万人以上いると試算しています。その人たちの中には、母子家庭、ワーキングプア、高齢者、移住労働者、そして路上生活者などがいます。
*社会生活の中で、安全かつ十分に栄養のある食べ物が得られること。

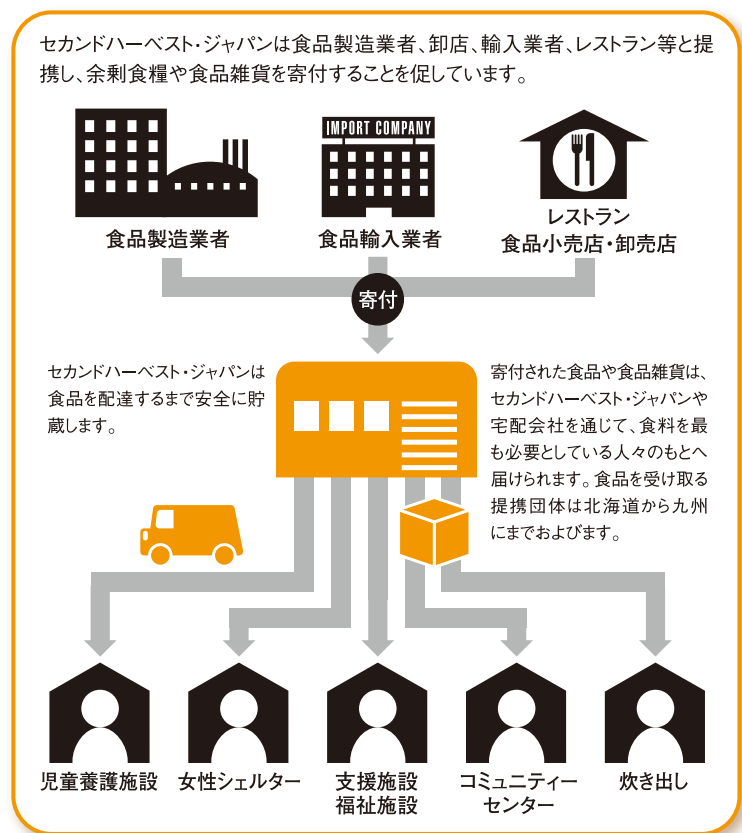
同時に、農林水産省が2008年に発表した日本の食品ロス*の年間総量は500万トン～900万トンにもなります。世界の食糧援助の総量の650万トンと比べるとその量の多さが分かります。
*品質には全く問題無くまだ十分に食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品のこと。

フードバンクは、寄贈された食品と、必要のある人やそのような人々を支援する福祉施設との橋渡し役として機能しています。わたし達と一緒に、誰もがいつでも安全で確実に食べものが得られる社会をつくりませんか？ -すべてのひとに食べ物を届けることができる社会に向けて-



セカンドハーベスト・ジャパン / 活動の流れ

私たちの目標はフードバンクのシステムを日本において発展させることです。人々が消費するのに十分に安全な食品を回収し、必要とされている人々のもとに直接、もしくは、施設を通して配給しています。



セカンドハーベスト・ジャパン / 活動に参加する方法

日本で食料を必要としている人々へ食料供給する活動をご支援いただく方法があります。参加したい方はご連絡ください。

時間の寄付: 時間、もしくは、有効なスキルを提供できる、意欲ある方々を必要としています。ボランティア部隊と共にあなたも活動してみませんか? volunteer@2hj.org

食料の寄付: 私たちは常時、食料を寄付して下さる新たな企業や個人の方を募集しています。 food@2hj.org

お金の寄付: あらゆる規模の財政的支援を歓迎します。1000円の寄付で10,000円分の食料配給が可能となります。* info@2hj.org
*2008年の会計報告より。

認知度の向上: 日本の貧困を終わらせ、食料廃棄を無くすという運動をより広げていくために、あなたが知っていることを周りの人達と分かち合ってください。

イベントへの参加: 私たちが主催する様々なイベントにご参加ください。

ドライバーズクラブ: お時間がある時に自家用車で食品を配送して下さる方を募集しています。ドライブを楽しむだけでなく、新たな出会いがあり社会の様々な側面を知ることのできる絶好の機会になります。短期間でも参加でき、それぞれの方の予定に合わせて参加する日や頻度を定めることが可能です。ドライバーズクラブは特に人気のある活動です。 driver21@2hj.org

(ご注意)
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本表を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたお名前、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

●ミシン目にそって、ていねいに切り取ってください。